

感染症情報

9月30日～10月6日(第40週) 神垣小児科

流行の程度および推移は、今週だけではなく過去2～3週間も含めて、院長の判断で決めたものです。
あくまでも神垣小児科を受診された患者さんからの情報です。流行は地域によって異なります。

	疾患名	流行の程度	流行の推移	コメント
①	麻疹	★		
②	風疹	★		
③	水痘 (みずぼうそう)	★		
④	ムンプス (おたふくかぜ)	★		
⑤	百日咳	★		
⑥	溶連菌感染症	★★★	→	コンスタントにみられます
⑦	肺炎 (マイコプラズマなど)	★★★★	↑↑	増加傾向です
⑧	ロタウイルス性胃腸炎	★		
⑨	その他の胃腸炎 (ノロウイルスなど)	★★	→	
⑩	伝染性紅斑(リンゴ病)	★		
⑪	手足口病	★★	↓	減少傾向です
⑫	ヘルパンギーナ	★		
⑬	咽頭結膜熱(プール熱)	★		
⑭	アデノウイルス感染症	★		
⑮	上記(⑪⑫⑬⑭)以外の 夏かぜ症候群	★		
⑯	RSウイルス感染症	★★	→	コンスタントにみられます
⑰	インフルエンザ	★★	→	コンスタントにみられます
⑱	新型コロナウイルス感染症	★★	→	コンスタントにみられます
⑲	ヒトメタニューモウイルス感染症	★		
⑳	その他のかぜ症候群	★★		

「マイコプラズマ肺炎」が8年ぶりに全国的に流行しています。発熱と長引く咳が特徴的です。幼児・学童期を中心に感染します。重症化することは少ないのですが合併症があったり入院になることもあります。呉地区でも今までわずかにみられていましたが当院では9月末頃から急激に増加傾向です。ご注意ください。

「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)」は第33週(8月中旬)をピークに減少傾向です。しかしコンスタントにみられていますので引き続き注意が必要です。

「溶連菌感染症」「RSウイルス感染症」「インフルエンザ」は少ないですがコンスタントにみられています。特に「インフルエンザ」は今後増加すると思われるので注意が必要です。

★	なし
★★	たまにあり
★★★	時々あり
★★★★	流行中
★★★★★	大流行中

↑	増加傾向にある
↑↑	著しく増加傾向にある
→	変化なし
↓	減少傾向にある
↓↓	著しく減少傾向にある